

子育て世代（幼児～小学生期）対象としたプログラム

## 「思いやりのある子に育ててほしい!!」～親がすべきことは?～

どのような子どもに育ててほしいと思うか。

	項目	これから親になる世代	子育て世代	シニア世代	社会教育関係団体	企業
1	人を思いやることのできる子ども	87.0%	93.9%	85.7%	88.7%	73.3%
2	社会のルールを守ることができる子ども	52.8%	56.7%	64.2%	60.9%	62.2%

注 上位2項目のみを表示

■参考 鹿児島県社会教育委員の会議（平成24年3月）

**ワーク1** あなたが持っている「思いやりのある子」のイメージを書きましょう。

**ワーク2** 思いやりのある子に育てるために、ふだん心がけていることを、話し合しましょう。

## 思いやりのある子どもに育てるポイント

### ① 親が、だれかを思いやる姿を見せる。

#### 子どもは親の姿を見て学んでいく

親に感謝し、親を思いやる心は、広く他人を思いやる心の基となる大切なものです。まず、親が自らの親である祖父母を大切にすることを心がけましょう。

大人たちは、自らの親への接し方や思いやりのある社会のために何が必要かについて、子ども自身から問われているのだということを考えましょう。



■出典 「家庭教育手帳」(文部科学省)

タテマエでは、分かっている。でも、実際は…? 知らずに…ということも。自分は、子どもに何をさせているか、振り返ってみましょう。

### ② 子どもが、思いやりのある言動をした時に、ほめたり関心を寄せたりする。

(例) 「自分も～～したかったのに、ゆずってあげられて感心だったね。」

「～～してくれただね。うれしい。ありがとう。」

『〇〇くんって思いやりがあるなあ』って感動できたあなたも思いやりがあるね。」

※ 「思いやりのある言動」とは、子どもが、他のだれかの思いやりのある言動に対して感動したり感心したりしたことも含みます。

### ③ 相手の立場に立って考えたり行動したりすることの大切さを子どもに諭す。

(例) 「ブランコに乗るのは楽しいよね。でもずーっとほかのお友達が乗ってて、自分が乗れなかったらどうかな?」  
「悲しいよね。だから今度は、まだ乗っていないお友達にも代わってあげようね。」



※ 子どもが幼い、あるいは人と関わる経験が少ない場合は、**他者の視点で物事を理解する力が**十分についていないので、他者の感情に注意を向けさせる言葉かけが重要です。

- 園や学校だけでなく、親戚や地域の人など、いろいろな人と関わる機会を作り、様々な体験をさせましょう。
- 親子でいっしょにいろいろな本にふれることで、他者を思いやる心が育まれます。



**ふりかえり** このプログラムをとおして、どんなことを考えましたか。